

自治ひろば

1667号

2025. 2. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

当面の日程

- 1日 県本部衛生医療評病院集会(神戸市教育会館)
- 1日 県本部公共民間協春闘学習会(県本部)
- 2～3日 県本部公企評水道集会・下水道部会交流会(津名ハイツ)
- 7日 県本部中央委員会(あすてっぶKOBE)
- 8日 県本部春闘討論集会(ひょうご共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

ストライキ批准投票 高批准で成功させよう

自治労は、春闘期に政府・自治体及び雇用主に対し要求書を提出し、1年間の賃金・労働条件闘争をスタートする。

ストライキ批准投票は、年間を通じてストライキを含む闘争指令権を中央闘争委員会に委譲することについて、組合員の承認を求めるもの。

ストライキをはじめとする各種戦術の配置は、要求実現や合理化阻止などを達成するための手段である。その手段をより有効にするためには単なる戦術配置ではなく、労働組合にとって重要な『団結』を示すことが不可欠であり、ストライキ批准投票はまさに団結力を数字で示される。

自治労産別全体として、賛否の欄には丸印を入れ、圧倒的な高率でストライキ批准投票を成功させよう。



賛否の表示に○を！



7月の参議院選挙に向け意思統一



県本部三線サークルによる演奏

県本部新春旗開き

復活と再生の1年に

県本部は新春旗開きを1月8日、神戸市内のラッセホールで開催した。山下忠之委員長は主催者あいさつ

で「昨年は自然災害で多くの被害がもたらされた1年だった。今年は阪神淡路大震災から30年。この間に学

んだ教訓も、30年間で大幅に職員が減ったことで、緊急時に活かしきれない問題がある」と指摘した。政治

の課題では「昨年の解散総選挙で、裏金問題でゆれた自民・公明と党が過半数割れとなり、少数与党に追い

込んだことで、議論を尽くす政治を取り戻した。7月の参議院選挙は流れを加速させる重要な選挙。私たちの課題を国会で訴え続けてきた「岸まきこ」さんが、引き続き活躍することが必要」と強調した。

また、昨年ノーベル平和賞を受賞した被団協の「やってきた運動を次の世代の皆さんが、工夫して築

いていく」との言葉から「私たちの運動でも再生と成長に繋がる。千支の已年のおり『復活と再生』の1年とするために、単組と共に全力で取り組む決意」とあいさつした。

来賓として駆け付けた那須健連合兵庫会長は「昨年の春闘では平均5%以上の賃上げ率となり33年ぶりの

高水準となったが、中小は4.45%と大手と中小の格差が拡大した。格差を縮めるため、しっかりと取り組んで行く」と決意を述べた。多くの来賓からあいさつを受けたのち、県本部三線サークルの演奏や各評議会作成の岸まきこ応援動画が上映された。

自治労議員団会議

国会の風景がかわった

参院選に勝利し政治変革を推し進める

県本部組織内議員団会議が1月8日、県本部旗開き前段に開催された。黒田一

美議員団団長あいさつを受けたのち、鬼木誠自治労組織内参議議員から「解散総選挙で、自民・公明と党は少数与党になり、これまで不誠実で乱暴な議会運営が、衆議院では野党の主張も一定取り入れながら、一致点を見出ししていくように

大きく変わった。政治変革の途上であり、本当に変革につなげていくため、7月参議院選挙においては、皆さんの支援をお願いしたい」とあいさつをした。

承認事項では野々村康丹波篠山市議会議員の議員団への加入を確認した。協議事項では今年6月執行予定の尼崎市議会議員選挙「わたせ和人」政策協力候補の取り組みや県本部闘争課題などについて協議した。また、役員体制については、議員団団長に黒田一美兵庫県議会議員、事務局長に加地幸夫神戸市会議員を確認した。

鬼木参議院議員

職場・書記局を訪問

職場課題で意見交換

1月8～9日に来県した自治労組織内鬼木まこと参議院議員は、1月9日8時に神戸市環境局垂水事業所の出庫への激励を行った。

現場のみなさんとも意見交換を行い、人員問題や清掃事業の課題などを確認した。

その後、県職労執行部と組織現状や県知事をめぐっての課題についての意見交換会を行った。鬼木参議院議員は福岡県職労出身ということもあり、現状や課題について率直な意見交換を行った。特に知事選挙後も大変な状況が続いているが、問題となった選挙のあり方など国会で取り上げ、連携し取り組んでいく決意をいただいた。



県職労と意見交換する鬼木さん

しこう

過日、尼崎市職
労が組合員向
け文化レク活動
として「三線体
験会」を開催し
た。要請があり
講師として参加
した。役員を含め12人が、
楽しく真剣に三線に触れた

いまいち座

低空飛行



大 植 賢 (豊岡市職労)



参加があった▼労働組合が文化芸術活動に取り組む意義は、連帯感の醸成や生活の質の向上など様々あるが、地域に根付く文化や多様性の尊重を学ぶ機会でもあるのだと感じた。尼崎市職労の今回の取り組みが、さらに広がっていくことを期待している。

但馬丹波ブロック

囲碁ボールで懇親深める

狙った距離と方向性が重要

但馬丹波ブロックは、県本部70周年事業で、丹波市発祥の囲碁ボール大会を1月11日、養父市内で開催。10単組41人が競技した。囲碁ボールはゲートボールと五目並べを組み合わせたようなスポーツ。チーム戦は黒ボールから交互に行い、各チーム10球を打ち1局が終了する。縦・横・斜めで3個から5個までのラインを作り、ラインの個数が多い方が有利となる。今回初めてスティックを握った参加者もあり、白熱



指示どおりの場所へ打てるか

試合は予選通過の4チームでトーナメント戦を行った結果、丹波臨職労チームが優勝、準優勝は養父市職労チームとなり、地元産賞品をゲットした。



地方公共交通の課題について岸さんと意見交換

昨年12月17日、神戸交通労働組合の役員8人が東京交通局を訪れ、他都市の公共交通運営について調査を行った。視察の前日には国会見学を実施し、岸まきこ自治労組織内参議院議員との意見交換を行い、地方公共交通の課題について議論を深めた。意見交換では、石破総理の掲げる「地方創生2.0」が具体的な公共交通政策に結びついていないことへの疑問が挙げられた。補正予算で交付税が増額される一

神戸交通労組
岸さんと意見交換

「地方創生」の実効性に懸念

公共交通政策の改善を訴える

方、総理の演説では地域公共交通への言及がなく、地方創生の実効性に懸念が示された。特に、地域住民の移動手段を確保しなければ過疎化が進むとの危機感が共有された。また、運転手不足や路線

削減といった課題を解決するため、国による補助金配分や政策改善の必要性が強調された。神戸交通労組は視察や議論を通じて得た知見を今後の活動に活かし、地域交通の改善に向けた取り組みを進めるとしている。

災害とアスベストを考える
これまでの経験を活かし対策を

「阪神・淡路大震災から30年・災害とアスベストを考えるシンポジウム」が1月12日、神戸市内で150人が参加し開催された。集会は、自治労兵庫県本部も参加する「災害とアスベスト」が主催した。

第2部は、「語り継ぐ震災とアスベスト」として、大阪市立大学の宮本憲一さん、神戸大学大学院の原口剛さんから報告を受けた後、中皮腫の患者の方から、次に神戸大学の学生が自らの経験を元に語り継ぐための課題が語られた。それぞれの観点で話に参加者は熱心に耳を傾け、「震災とアスベスト」問題



会場は満席となった

に警鐘を鳴らし続けなければならないことを確認し、最後に、「阪神・淡路大震災から30年 災害アスベストによる健康被害を抑制するために」との声明を全体で確認してシンポジウムを終えた。

阪神淡路ブロック

韓国・日本の歴史に触れ
コリアンタウンを満喫



キムチ作りを体験中

JR鶴橋駅を出発し、韓国食材、海鮮などのお店が多く立ち並ぶ鶴橋商店街を抜け、「大阪コリアタウン」で異国情緒あふれる街並みを楽しみ、韓国と日本の歴史にも触れながら、交流を深めた。韓国と生野区等のつながりは古墳時代まで遡り、すでにその頃から多くの人々が百済から移り住んでいたことなどを知り、はるか昔の大阪に思いを馳せながらの街歩きとなった。

その後、「いくのパーク」として生まれ変わった廃校の小学校で「キムチづくり」を体験。塩漬けされた白菜に秘伝のヤンニョムをすり込み、それぞれのキムチを作った。同じヤンニョムを使っても手の温度やすり込む時の力加減で味が変わってくるそうだ。

最後は、フィールドワークを満喫した後、今回の行事をきっかけに、ブロックの取り組みに参加した組合員もおり、組合活動の裾野がさらに広がることを願い、焼肉交流会でお肉とお酒をしつかり堪能し、交流を深めた。

長期共済

税制適格年金

余裕資金は退職後のために随時払へ!

かしこく
積み立てよう!

ご存知ですか?

随時払は、月払など異なり、不定期に払い込むことができます。

大好評!

例えば 100万円を随時払すると 20年で124万円に!
(10万円から1万円単位で利用できます。)



ご用意している退職後の保障

確定年金・終身年金

長期共済では、他にも終身の医療保障や遺族(死亡)保障の用意があります。

効率的に
プラス!



口数やコース、払込方法にかかわらず、積立金の一部分のみの解約・払い戻しはできません。

・月払または半年払で払込中の方が利用できます。
・組合によっては半年払・随時払の取り扱いがない場合があります。

※2022年6月現在の予定利率等にもとづき試算したものです。なお、予定利率等は将来変更することがありますので、将来の支払額を約束するものではありません。随時払は積立期間が1年未満のとき、積立金・解約返戻金が掛金を下回ります。

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。